

対馬釜山事務所だよ!

# ゴキ モグロ ガヨ!

(肉、食べに行きましょ!)

「学生時代」と言ったら、皆様は何を思い出すのでしょうか?

「教室、黒板、チョーク、試験、お弁当、学食、飲み会、友達、漫画の本などなど・・・」

懐かしい色々な物や場所が、走馬灯のように浮かんできます。誰にでも懐かしくなるこの時代を釜山で過ごしている対馬の若者たちがいること、皆様ご存知でしたか?

現在、釜山には対馬出身の大学生が8人もいます。

去る6月10日、「対馬出身留学生会」がありました。語学(韓国語)や専門の勉強でそれぞれ頑張っている8人の留学生全員の集まりです。事前に携帯メールに「皆、来週金曜日、集まって食事でもどう?」と韓国語で送ったら、「ネ、ゾアヨ!(はい、いいです。)」という返事のメールがたちまち届いてびっくりしました。ほんと、はやい!

留学生たちには、釜山事務所や釜山で対馬市の行事があるたびにボランティアとして手伝ってもらっていました。前から皆が集まる機会を設けようとしていましたが、中々時間が合わなかったのです。今回も試験期間なのに頑張って集まってくれました。

当日の約束場所は釜山の繁華街の本屋の前。場所を間違った新生たちもいましたが、ほとんど時間通りに皆が集まりました。「何食べに行こうかな?」と聞いたら「ゴキ モグロ ガヨ!」(肉、食べに行きましょ!)やはりいつの時代も、学生さんは、お金はなくてもお腹はすくものなのです。私たちは安くて美味しい豚肉ガルビの店に行きました。

8人の中で7名は同じ釜慶大学に在学していますが、今年の新入生のうちの1人が東亜大学という違う学校なので、会では改めて自己紹介から始めることになりました。4年生の桐谷康樹、3年生の上野未来、馬野アユミ、2年生が白石祥子、新生が高橋あい、永留美里、赤木亜美、草葉俊彦(専攻替えのため新生扱い)、そして釜山事務所のわれわれ二人。そして今回の集まりがあるということで、対馬高校の校長先生から励ましのお手紙があり皆と読みました。

後は学校生活の適応や寮での生活、韓国語の勉強、試験などの話をしながら盛り上がりました。在學生の中で目立ったことは、韓国語の発音がすごく滑らかになったこと、そして釜

山訛りが上手になっていること、新生は釜山でたったの3ヶ月しか経っていないのに、全くそうとは思えない「学校生活での落ち着き」や「韓国語」にはびっくりさせられましたよ。

若者は変化を受け入れることも早く、上達も早いですね。

この若者のお陰で、対馬と釜山だけではなく日本と韓国の架け橋が段々と大きく太くなっていくことが、皆様にも見えてくるでしょう?頼もしいですね!



右から永留、桐谷、辛、高橋、馬野、白石、赤木、草葉、上野

対馬釜山事務所 金 京一、辛 恩京